## 当用漢字表 (国語審議会)

ている。 野で必要な漢字を増補する方向で再検討され、最終的に一二九五字に五六四字を加え九字を削って、一八五〇字となっ 字種が少なすぎ、義務教育用としては多すぎる)が問題となり、議決に至らなかった。そのため、常用漢字表案に各分 和二十一年四月二十七日の総会に提出された常用漢字表案であるが、漢字表としての字種の範囲(一般社会用としては 字表の常用漢字(一一三四字)を基本に必要な加除を行うという形で審議が進められたのである。その結果、常用漢字 なわち、昭和二十年十一月二十七日、国語審議会に「標準漢字表再検討に関する漢字主査委員会」が設けられ、標準漢 については、 た。このうち一三一字については、簡易字体が本体として採用された。これが当用漢字表である。この「当用」の意味 審議の基礎となったものは昭和十七年六月の標準漢字表(国語審議会答申。国語施策沿革資料11に収録)であった。 一一三四字から八十八字を削り、二四九字を加え、総計一二九五字から成る新しい漢字表がまとめられた。これが、昭 昭和二十一年十一月十六日、内閣告示第三十二号・同訓令第七号で公布された。当用漢字表の制定に当たって、その 「日常生活上さしあたって必要なもの」(文部大臣談)、「当座の用のもの」(当局談)などと説明され

更に補足すれば、正誤には挙げられていないが、昭和二十一年の官報では、 用漢字表は、翌二十二年六月九日の官報で正誤が出ているが、法令全書ではこれに従って訂正したものを掲載している。 に当たって原本(B5判)を拡大(一二一%)した。なお、昭和二十一年十一月十六日の官報(号外)で発表された当 本資料集所収の当用漢字表は、法令全書(昭和二十一年十一月号、昭和二十二年十月十五日発行)によったが、 で令の下部が「マ」に近い形になっているが、これらも「駅」「齢」にそれぞれ訂正されている。 「駅」の馬の四つ点が「一」に、また 収録

	大音	多亚如多医班姆奶娑姆姆好好		八音 八	ノ名に一方た裏がはする
えなななな	į	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	7417	_	ノコは、1 mm 1 mm・2 はら
懐懸恋(戀)		女又子 I 已 王少 经 方 未 更 市 台 生	女部	ン部一冬令隹東疑	ハ、外國(中華民國を余く)の也名・
慨慮慰慶憂憎憤憩憲憶憾惡應懲		奮		(一部) 冗冠	
意愚愛感愼慈態慌慕惨(慘)慢慣		一大天太夫央失奇奉奏契奔奧奪獎	大部	一部一册再冒	動詞・助詞は、なるべくかな書き
悲悼情惑惜惠惡惰怭(惱)想愁愉		夕外多夜夢	夕部		
急性怪恆恐恥恨恩恭息悅悔悟患			夕部		
心必忌忍志忘忙忠快念怒怖思怠	心部		士部	(明一) アンデンアグラ	いことばは、別のことばにかえる
御復循微徽德徹		垣	3	元元充化	ィ、この表の漢字で書きあらわせな
役彼往征待律後徐径(徑)徒得從	1部	<b>医地震型气阻力型型型压压力型</b>	`	僧價儀憶儉需償優	使用上の注意事項
形彩彫彰影	彡部	院基堂堅堤協軒場块 <u>藥</u> 塔邊境臺		則馬穿裝箭量專賣易更動象系為一倍僅仍信佐值信佐值信任(個)	調査中である。
弓弔引弟眩弧弱張強彈	弓部	土在地坂均坊坑坪垂型埋城域執	土部	奈川を背牧重命立て見る事を建一条促後俗保信修俳俵併(併)倉個	一、字体と音訓との整理については、
式	ナ 部	(圓)図(圖)團		何佛作佳使來例侍供依侮侯侵便	
弊	<b>廾部</b>	囚四回因常固圈域 囲(重) 園 円	部口	一 企伏伐休伯伴伸伺似但位低住佐	を本体として、参考のため原字をそ
延廷建	<u></u> 部	嘱(屬)		人部 人仁今介仕他付代令以仰仲件任	
廃(廢)廣廳		問啓善喚喜喪奧單嗣嘆器噴嚇嚴		一音一亡交享京	一、簡易学本こついては、現生費用さった。
床序底店府度座庫庭庻康庸廉廊	广部	味呼命和唉哀品員哲唆唐唯唱商			別に考えることとした。
幻幼幽幾	<b>幺部</b>	后吏吐向君吟否含呈吳吸吹告周		了事	也に関系することろが大き、ひご、
干平年幸幹	干部	口占句叫召	口部	多剖	一、国有名词こついては、失規上そのできる。
幣		又及友反叔	又部	人乏乘	だある。
	市 部	去参(参)	公部		76ととかやすとして異してもの。 薄写の 帯阻力 あすり 無理力 たくぞえ
	己部		厂部		寛子の別及があまり無理がよってつ
	工部	一印危却卵卷卸即	印部		うの長は、今日の図式は舌のヒご、
]][	巛 )		上部	・レ	こう 英国とは、こうでである。 来記すると、単元会で、使用できる。
	山部		十部	基準として、整理することが望ま	
属(屬)	户音	四匿区(區)	川部	r <u> </u>	いがき
	・大き		こと語音		当用漢字表
	小部		了一		內閣総理大臣 吉田 茂
	寸部		]	へ、うておようないますとする。	昭和二十一年十一月十六日
		力功加劣助	力部	す。重極物の名称は、カカ書ではす	うに定める。
辛害宴家容宿寂寄密富寒察寡寢		剤(劑)劍		かない かなまし かな書	常使用する漢字の範囲を、次の表のよ
宅宇守安完宗官宙定宜客宣室宮	部部	則		トで話よい	現代図語を書きあらわすために、日
子孔字存孝季孤孫学(學)	子部	刀刃分切刈	刀部	例は、從來の慣習に從つてもさ	(官報 十一月十六日)
嫡孃		田区	部厂		●內閣告示第三十二号
1/2					

戶房所扇 戶房所扇 戶房所扇 戶房所扇 大持指提排拍排拍拒拓拔拘抽招拜括拷 按政攻放政故欲数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数	<b>                                      </b>	辰部	舞	<b>矢知短</b>		<b>=</b>	毛部
日部 具有服除卵型刺刺 氏部 氏民 一部 以表达的现象处(数)整 學 經過一點 人名苏 大型 大部 大部 计版 中部 中 大型 大部 大型 大部 大型 大部 大型 大部 大型 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中	辛弁(辨辨辯)辞(辭)	辛部			矛部	比	比部
及發數效(數) 数学(暴) 擬抗抗抱 (新) 经产品的管量 中部 日具 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	輸轄轉					母母毒	品
一方部   大部   大部   大部   大部   大部   大部   大部	車軌軍軒軟軸較載軽(輕)輝輩輪	車部				段殺殿殴(殿)	<b>殳</b> 部
上部   上部   上部   上部   上部   上部   上部   上部	身。在一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个	身部				死殉殊殖残(残)	罗部
一月月所扇    日日早旬早旬男青屋壁電響景景	足距跡路跳踊踏践(踐)躍	足部			白部	止正步武歲歷帰(歸)	止部
一方部   大部   大部   大部   大部   大部   大部   大部	走赴起超越趣	走部	腸腹膚膜膨胆(膽)臓	登発(競)		次欲欺款歌欧(歐)歓(歡)	欠部
「一方の一部では、「一方の一面では、「一面では、」(一面では、「一面では、「一面で	一赤赦	赤部	胸能脂脅脈脚脱脹腐腕 駁(腦)腰	<b>疫疲疾病症痘痛痢痴療癖</b>			
「大部   氏民   大部   大部   大部   大部   大部   大部   大部   大	賢賣賦質賴購贈 (贊)					(樓)標枢(樞)模樣樹橋機橫檢櫻	
一方部   大民   大部   大民   大部   大民   大部   大民   大部   大民   大部   大北   大部   大部   大部   大部   大部   大部	貴買貨費貿質賃賄資賊賓賜賞賠					棋棒森棺植業極栄(榮)構概樂後	
大部   大部   大部   大部   大部   大部   大部   大部	貝貞負財貢登貨販貫賣貯弐(貳)	月部		由甲申男町界畑畔留畜畝略番		一柳校株核根格栽桃案桑梅條娀棄	
「長部   大部   大部   大部   大部   大部   大部   大部	豚象豪予(豫)	豕部:	-			板析林枚果枝枯架柄某染柔查柱	
一方部   大部   大部   大部   大部   大部   大部   大部	豆豊(豐)	豆部				木未末本札朱机朽材村東杯東松	木部
世更書替最会(會)	谷	谷部				月有服除與望朝期	月部
医囊畸曜	警訳(譯) 羅護 誉(者) 詩(龍) 敦(稷) 翻				玉部	曲更書替最会(會)	日部
下時晩養着身情晶暇暑暖暗暫暮暴   「部   「共部   「共和   (基)   「共和   (基)   「共和   (基)   (基)	路路路路路路路路高一路分路路				<del></del>	唇曇曉嚁	
日旨早旬昇明易昔星映春昨昭是 大部 大犯狀狂狩狹猛猶濱独(獨)獲朔 缶部 石砂砲破研(研)硝硫硬春碎碑確 月部 月房所扇 氏部 大犯狀狂狩狹猛猶濱独(獨)獲濟 允部 不必应破研(研)稍硫硬春碎碑確 月部 大流旅旋族族 大部 大犯狀狂狩狹猛猶濱独(獨)獲濟 公部 大流域 (養)數数(數)整 次部 大流炎次炎炭烈無焦然煮煙照煩 大部 大彩粒粗粘挺粹精糟糧 次部 大流淡次炎炭烈無焦然煮煙照煩 大部 大彩粒粗粘挺粹精糟糧 次部 大流淡次炎炭烈無焦然煮煙照煩 大部 大彩粒粗粘挺粹精糟糧 交	<b>診誘語過ങる調整部部部部記述</b>					一時晚畫普景晴晶暇暑暖暗暫暑暴	•
<ul> <li>(趣)養業総籍絵(繪)繭繰継(経)</li> <li>(本) 大部 大阪が、大京、大京、大京、大京、大京、大京、大京、大京、大京、大京、大京、大京、大京、</li></ul>	路門高衛星長龍開起音扇電電 <b>車</b>					日旨早旬昇明易昔星映春昨昭是	日部
方施旅旋族旗  大部   大部   大部   大部   大部   大部   大部   大部	言訂計衙訓託記記記記書記記	言部				旣	无部
「元新断(断)	角解触(觸)	角部	線締緣編緩緯練縛縣縫縮縱総	片版		方施旅旋族旗	方部
下等的原属	見規減等党(質)質都(で)	見部	糸(絲)絹経(經)綠維綱網綿緊緒	父		斤斥新断(斷)	斤部
文	西要覆	西部	紫累細紳紹紺終組結絕液絡給統	爭為爵 —		斗料斜	斗部
大家、大家、大家、大家、大家、大家、大家、大家、大家、大家、大家、大家、大家、大	複製					文	文部
大部 大民 大部 大民 大部 大民 大部 大党的政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政	衣表表皮袋被裁裂寡裕神纵視數	衣部				一敵數数(數)整	
支	行術街運傷衡	行部	•			收改攻放政故稅教檢救敗敢散敬	支部
「護」」稱「大學」」與「大學」」與「大學」」與「大學」」與「大學」」與「大學」」與「大學」」與「大學」」與「大學」」與「大學」」與「大學」,,與「大學」,,與「大學」,,與「大學」,,與「大學」,,與「大學」,,與「大學」,,與「大學」,,與「大學」,,與「大學」,,與「大學」,,與「大學」,,與「大學」,,與「大學」,,,與「大學」,,,與「大學」,,與「大學」,,,與「大學」,,,與「大學」,,,與「大學」,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	血衆	血部			201	支	支部
提担(擔)拠(據)整挙(舉)擬拡 減渡測港渴湖湯源準溫溶滅滋滑 穴部 穴筅空突窒窓窮窯窃(竊) 电部 接控推措補提揚換握揭揮接損搖 水部 水氷永求汗汚江池決汽沈沒沖河 示部 示社所祉祕祖祝神祥票祭禁禍福 色部 抵押抽拂拍拉拓拔拘拙招拜括拷 水部 水氷永求汗汚江池決汽沈沒沖河 示部 示社所祉祕祖祝神祥票祭禁禍福 色部 抵押抽拂拍拉拓拔拘拙招拜括拷 水部 水氷永求汗汚江池決汽沈沒沖河 示部 示社所祉祕祖祝神祥票祭禁禍福 色部 無油治沼沿況泉泊巡法波泣注素 禪礼(禮) 一种部 磁礁硬 色部 一种部 一种	牧融虫(蟲)蚕(蠶)蛮(量)	虫部	<u> </u>	<del></del>	. mi-	(	
搜搬携搾摘摩撤損撲擁択(擇)擊 涉液凉淑淚淡淨深混清浅(淺)添 (稱)稻稿穀積穗穏(穩)穫 接控推措補提揚換握掲揮接損搖 於半洗津活派流浦浪浮浴海浸消 示部 壳私秋科秒租秩移稅程 稚種 称 拾持指振捕捨掃授掌排掘掛採探 沸油治沼沿况泉泊泌法波泣注索	虐処(處)虛虜處男(號)	<b>虍部</b>				操担(擔)拠(據) 擦挙(擧) 擬拡	
接控推措描提揚換握揭揮援損搖 涂洋洗津活派流浦浪浮浴海浸消 禾部 秀私秋科秒租秩移稅程 稚 種 称 拾持指振捕捨掃授掌排掘掛採探 沸油治沼沿况泉泊泌法波泣注案 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	<b>港群然蓄潤展寮麗龍鳌楽灌</b>					搜搬携搾摘摩撤撮撲擁択(擇)擊	
拾持指振捕捨掃授掌排掘掛採探 沸油治沼沿沉泉泊泌法波泣注案 禪礼(禮) 艸部 抵押抽拂拍拒拓拔拘拙招拜括拷 水部 水氷永求汗汚江池決汽沈沒沖河 示部 示武而祉祕祖祝神祥票祭禁禍福 色部手才打扱扶批承技抄抑投抗折抱 气部 氣 磁礁硬 艮部 一	班茎(莖)菊菌菓菜華万(萬)落葉		秀私秋科秒租秩移稅 程 稚 種			接控推措描提揚換握揭揮援損搖	
抵押抽拂拍拉拓拔拘拙招拜括拷 水部 水氷永求汗汚江池決汽沈沒沖河  示部 示社耐祉祕祖祝神祥票祭禁禍福  色部	<b>芋芝花芳芽苗若苦英茂茶草荒荷</b>	艸部				拾持指振捕捨掃授掌排掘掛採探	
手才打扱扶批承技抄抑投抗折抱   气部   氣   一   一   一   一   一   一   一   一   一	色	色部	一示社 が 社	水永求汗汚江池決汽沈沒 <b>冲河</b>		抵押抽拂拍拒拓拔拘拙招拜括拷	
戶房所扇 氏部   氏部   氏民   石部   石砂砲破研(研)硝硫硬碁碎碑確   舟部	良	艮部	磁礁硬			一手才打扱扶批承技抄即投抗折抱一	手部
	舟航般舶船艇艦	舟部	一石砂砲			戶房所扇	戸部

=		閣第三十三号	昭和二十一年十一月 告示 內閣第三	1822
×į		ものは除く。		多部
くわい(慈姑)あい(藍)	オーろう らう、	るもの、またはこれを変更しがたい	部高	高部
しと(井戸) いのしし(群)	オーようやう、え	一一、原文のかなづかいによる必要のあ	部 骨髄(髓)体(體)	骨部
•	けず	る。	部一馬駐騎騰騷取(驅)驗驚駅(驛)	馬部
一、らといと書くもの	ぼうばういる	代文のうち口語体の もの に 適用す	部一香	香部
例	まのうう	一、このかなづかいは、主として現	部一首	首部
たいし助詞のをを除く。	オネーとう	である。		食部
第一の、ゑ、をはい、え、おと書く。	ナオーぞう	きあらわす場合の準則を示したもの		飛部
	オーそうっさう、	音にもとづいて、現代語をかなて書		風部
田川	ゴオ ごう (がう、ぐわう、がふ、	づかい		頁音部
りゃうわう		まえがき	书一章 賽響	子 革 子 部
ョウーみょうしみやう、めう	っぱう	現代かなづかい		面沿
ピョオ びょう びやう、べう	おり	內閣總理大臣 吉田 茂		非常部
ョオにょうねう	ゆういう、いふ、	十六日		青部
ちょう	愛 音(まかた) 備 考(いを示す。)	なつかいを、次のように定める。		雨部
ジョオ じょう くじゃう もそう せき	エンコン	現代國語の	部 隻雄雅集雇雌双(雙)雜離難	<b>佳部</b>
ョオしょうしゃう、せう、	=			隶部
オぎょうぎ		(官報 十一月十六日) ——《字閱《元章记》 H.J.		
ョオーきょうしきゃう、ナラ、		<b>少别告示将三十三号</b>	陷陸陽隆隊階隔際障隣随(隨)險	
発音でかい一備者(いを示す。)	な	歯部   歯(歯)輪(歯)	部一防阻附降限唑院陣除陪陰陳陵陶	阜
: 断かな : (日かな	<u>-</u> えお	寮部   斎(寮)	部一門閉開開閉閣閱閱與(閱)	門部
四	જ <b>ગે</b>	異語   鼻	部一長	長部
	<b>لاء</b> :	<b></b>	<b>鑄鑑鉱(鑛)</b>	
ュウりゅう	わす	黑语   黑嫼点(凞)党(黨)		
ビュウびゅうびう	マジ すじ づち			金部
アウトルッラー	ガジ	麻部 麻		里部
ュウちゅうちう	 ∂^\$	麥部 麦(麥)		(余部
ユウじゅう	マネ	鹿部 麗		酉部
ュウージゅうしぎう	٠٤٠	鹵部 塩(鹽)		邑部
ゥ	かい 依 ましいを示		(遅)遵遷選遺避還辺(邊)	
発 電づかい  備 えいを示す。)	予新かな事	魚鮮鯨	軍區過道幸運風(遞)遠遣適遭遅	
音 新かな  第一巻/旧かな		部		 :
Ξ	•	部一幅	部一込出型近返迫迭述迷追退送逃逆	是部
1<1				